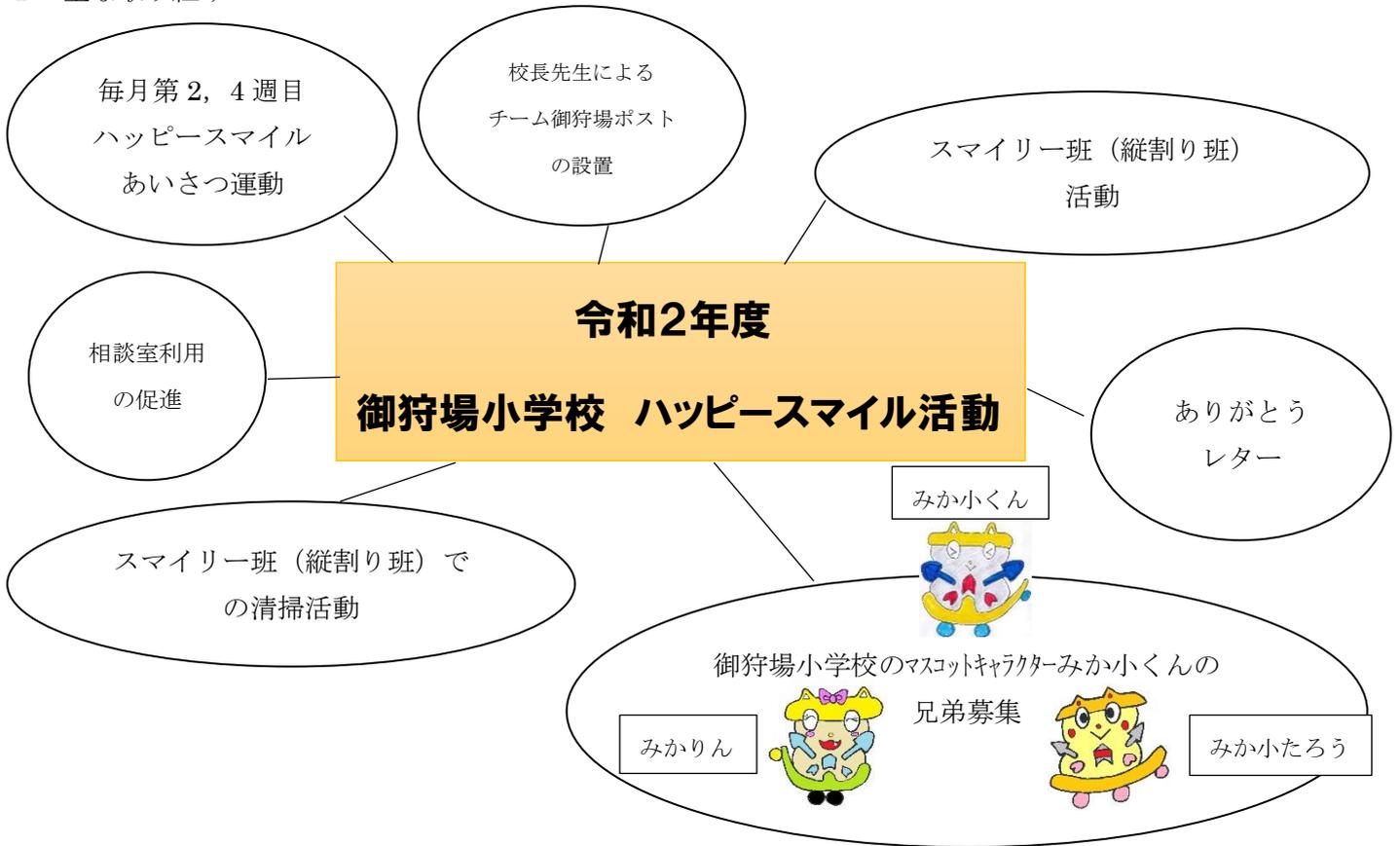


学 校 名	狭山市立御狩場小学校
本校児童会は、「さやまっ子の誓い」を 承認します ・ 承認しません	

本校のいじめ防止に関する実践

1 主な取り組み



(1) 御狩場小学校のマスコットキャラクター「みか小くん」の兄弟募集

御狩場小学校には平成 28 年度に児童から募集して誕生したマスコットキャラクターの「みか小くん」がおり、子供達は大変親しみを持っていて、学校生活のいろいろな場面で活用してきた。

今年度は4月の始業式後に休校となり、子どもたちも不安の中での新年度のスタートとなった。そこで休校中、学校のことを思い、少しでも前向きに過ごしてほしいと考え、全校児童に「みか小くんの兄弟を考える」という課題を出した。ほとんどの児童がその課題に意欲的に取り組んでくれ、たくさんの候補が挙げられた。考えたマスコットの性格の多くに「やさしい」「元気」「笑顔」などが挙げられ、それに学校生活への願いも込められているように感じた。

多くの候補の中から「みかりん」と「みか小たろう」に決まった。いつもにこにこ笑顔のみかりんと、みか小たろう、そして、みか小くんが御狩場小学校の子供たちを見守り、一緒に学校生活を楽しんでいる。校長先生が設置した「チームみかりばポスト」にもこの3兄弟が

いじめはしません させません ゆるしません
あなたのこえをポストにどうぞ！
みんながすみやすいみかりば小にしましょう

と呼びかけている。



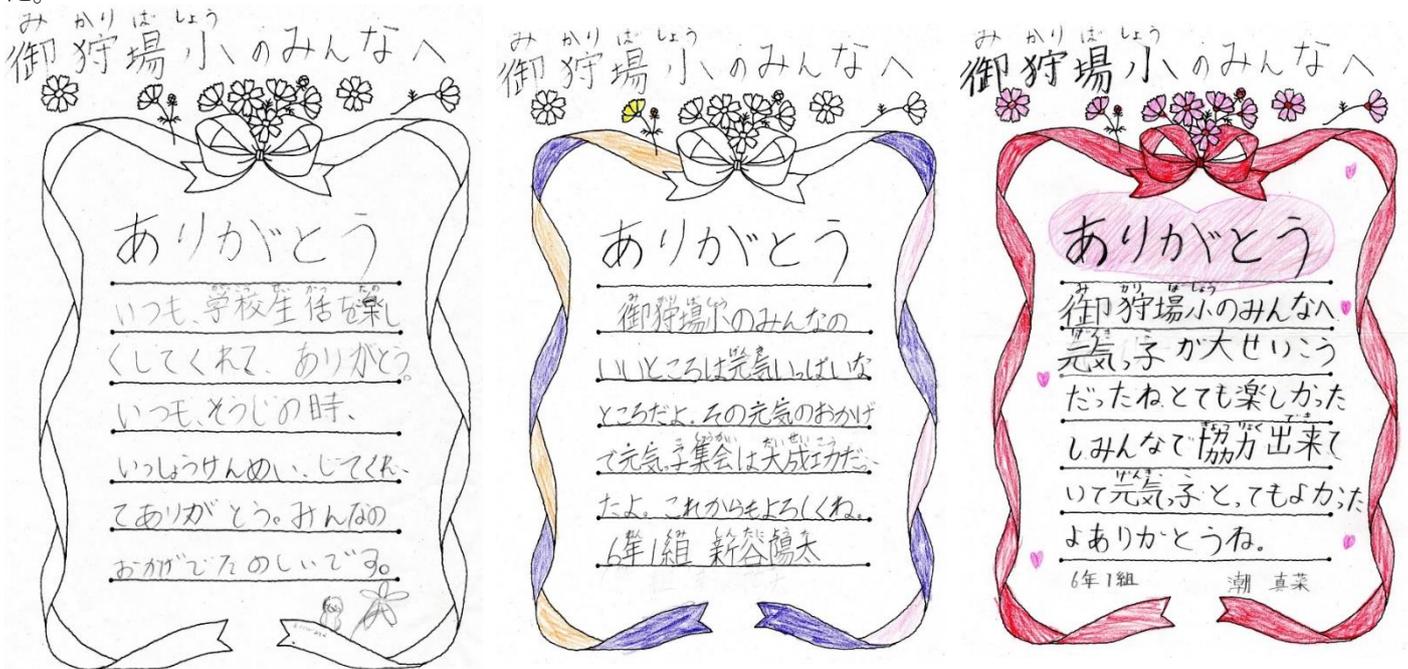
(2) 「ありがとうレター」の取り組み

6月に学校が再開して、新しい学校生活が始まった。制約がある中で何かできないかと考えた6年生が「ありがとうレター」を提案してくれた。

●6年1組 福永さんの提案文●

ありがとうレターというのは、全校のみんなのいいところを手紙に書くというものです。学級代表委員が作ったレター用紙を全校のみんなに配り、全校のみんなのいいところを書いてもらって集めます。そして、シャッフルして各教室に持って行きます。それから、各教室のみんなに配ります。全員がありがとうレターがもらえます。これをする事で、みんなの仲が深まり、学校がより楽しくなると思います。

10月中旬、ありがとうレターの準備が始まった。だれか特定の人ではなく、全校宛に手紙を書くことは低学年にとっては難しいことかとも思われたが、年間を通して縦割り活動（スマイリー活動）で清掃活動や集会活動なども行ってきたため、その時の様子を思い浮かべながらどの子も夢中で書いていた。その書かれた手紙を学級代表委員が集め、全クラスに分けた。11月24日の児童朝会。そこで全校一人一人が書いた「ありがとうレター」が全ての児童に配られた。各教室で学級代表委員によって配られたありがとうレターをどの子もにこにこしながら読んでいた。たどたどしいひらがなの手紙をもらった6年生や、全校のことを思う気もちがしっかりとした字で書かれた手紙をもらった1年生。教室には静かであたたかい雰囲気が漂い、とても素晴らしい朝の時間となった。



2 成果と課題

今年度はコロナ禍で、様々な活動が例年とは違うようにせざるをえない状況であり、身体的なソーシャルディスタンスが心のソーシャルディスタンスにつながってしまうのではないかといじめや不登校などの心配も大きかった。

しかし、その中でも、例年通りみんなが仲良くするために何ができるかを考え、児童主体の取り組みができた。前記の取り組みの他にも、密になってしまう縦割り遊びができない代わりに、全校でソーシャルディスタンスを保って校庭でダンスをしたり、ハイタッチや大きな声であいさつ運動ができないので手を振るハッピースマイル運動を6年生が率先して取り組んでくれたりしたことで、児童のつながりが例年にも増して強くなった気がする。学校生活アンケートで学校が楽しいと答えた児童は93%おり、昨年の90%を上回った。休校から始まり、子供たちにとって不安な1年だったであろう。しかし、身体的に友達と密にならないようにと考えたことが友達同士の心の密を生み、より一層友達の大切さ、お互いを思いやる温かい気持ちが芽生えたのではないかと思う。